



CA92344-2492-01

**FUJITSU Server PRIMERGY
CX1430 M1 対応**

Windows OS の手動インストール

本書をお読みになる前に 本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例:【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例:【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■DVD-ROM ドライブの表記について

本書では、DVD-ROMドライブを「DVDドライブ」と表記しています。

■コマンド入力(キー入力)

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:

↑ ↑

- ↑ の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
- 使用する OS が Windows または DOS の場合は、コマンド入力を英大文字、英小文字のどちらで入力してもかまいません。
- お使いの環境によって、「\」が「¥」と表示される場合があります。
- DVD ドライブのドライブ文字は、お使いの環境によって異なるため、本書では[DVD ドライブ]で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ文字を入力してください。

[DVD ドライブ]:\setup.exe

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■他のマニュアルの表記

本文中では、本書以外のマニュアルを【マニュアル名称】と表記しています。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

例:「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム(またはプログラム)」をポイントし、「アクセサリ」をクリ

ックする操作

・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称の略称

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials	Windows Server 2012 R2 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012 R2 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016 Standard	Windows Server 2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials	Windows Server 2016 Essentials	
Microsoft® Windows Server® 2016 Foundation	Windows Server 2016 Foundation	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	Windows Server 2016 Datacenter	

対応状況については、当社ホームページに随時最新情報を掲載しています。ご確認ください。

(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>)

■商標

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

Copyright 2018 FUJITSU LIMITED

目 次

本書をお読みになる前に.....	2
目次	4
Windows Server 2012 R2 のインストール.....	5
1.1 インストール前の準備	6
1.1.1 ドライバの用意.....	6
1.1.2 内蔵オプションの取り付け	6
1.2 インストール手順	7
Windows Server 2012 R2 Server Core の インストール.....	11
2.1 インストール前の準備	12
2.1.1 ドライバの用意.....	12
2.1.2 内蔵オプションの取り付け	12
2.2 インストール手順	13
Windows Server 2016 のインストール	17
3.1 インストール前の準備	18
3.1.1 ドライバの用意.....	18
3.1.2 内蔵オプションの取り付け	18
3.2 インストール手順	19
Windows Server 2016 Server Core の インストール.....	23
4.1 インストール前の準備	24
4.1.1 ドライバの用意.....	24
4.1.2 内蔵オプションの取り付け	24
4.2 インストール手順	25

第 1 章

Windows Server 2012 R2 のインストール

1

手動で Windows Server 2012 R2 をインストールする手順を説明します。

- 1.1 インストール前の準備
- 1.2 インストール手順

[注] Windows Server 2012R2 の対応状況について
当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に随時最新情報を掲載しておりますので、確認ください。

1.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

1.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- Web(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>)からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

対象デバイス	ドライバ
チップセットドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Chipset Driver
オンボード LAN / LAN カード	PRIMERGY CX1430 M1 Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel(R) PROSet
ディスプレイドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Onboard VGA Driver

※ ドライバは随時更新されます。

1.1.2 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『PRIMERGY CX1430 M1 アップグレード & メンテナンスマニュアル』(サーバ本体の個別マニュアル (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/manual-cx600m1-201609.html>))をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

■OS インストール前の留意事項

- UEFI モード/BIOS モードの切り替えが必要な場合
インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクの UEFI 対応情報をご参照ください。
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>
- ETERNUS などの外付けストレージシステムを接続されている場合
AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。
- OS インストールに使用しない内蔵ストレージを接続されている場合
OS インストールに使用しない内蔵ストレージデバイスは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

1.2 インストール手順

Windows Server 2012 R2 の手動インストール手順について説明します。

■用意するもの

- ・Windows Server 2012 R2 の DVD (インストールディスク)
- ・あらかじめ用意したドライバを記録した媒体

1 Windows Server 2012 R2 の DVD-ROM を準備します。

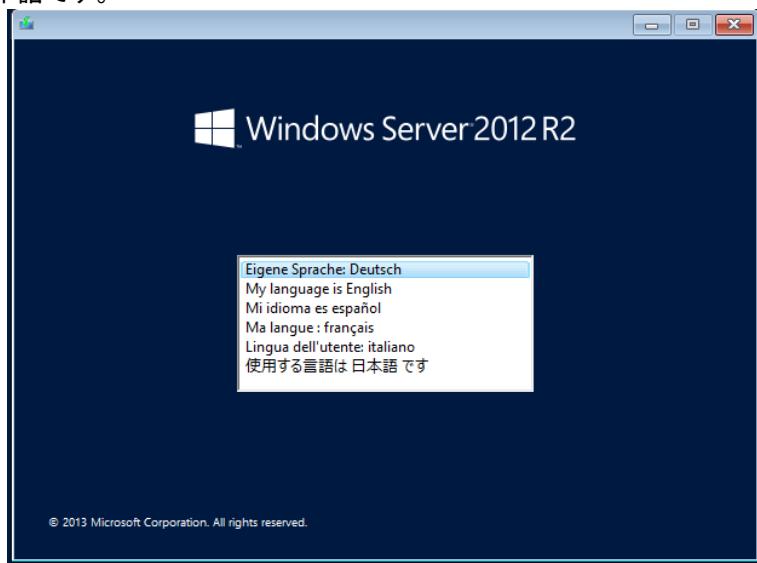
サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2012 R2 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

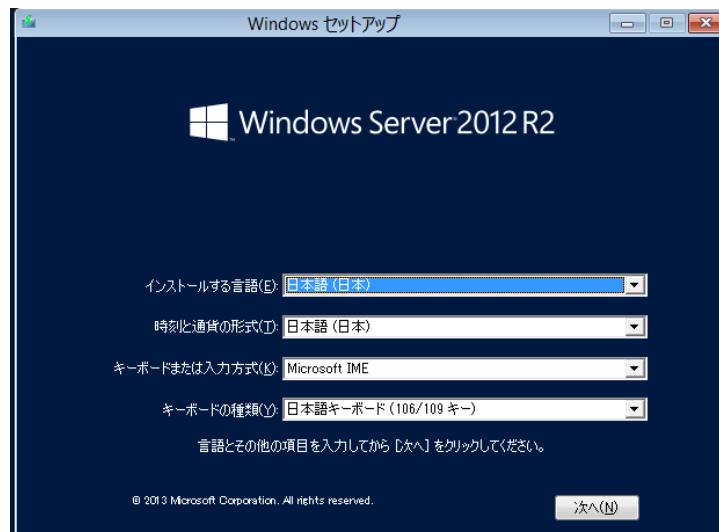
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2012 R2 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2012 R2 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。
使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後【次へ】をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

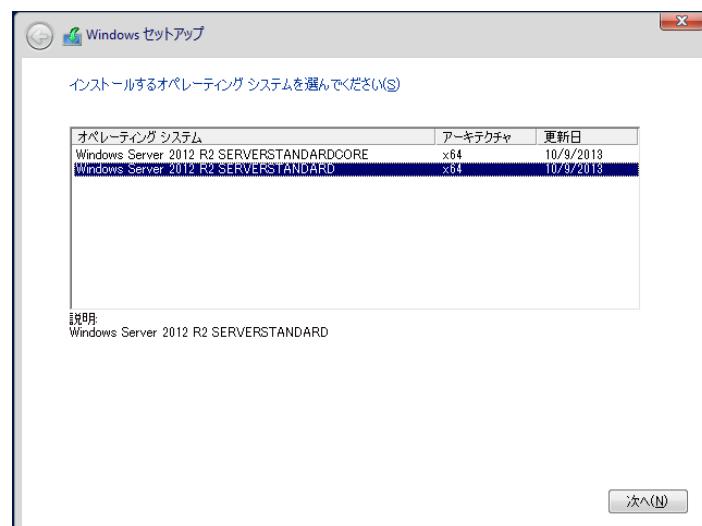


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社ホームページより「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2012 R2 動作確認情報」の順にクリックし、『PRIMERGY/PRIMEQUEST における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

3 インストールするOperating Systemを選択します。

次の画面から「ServerCore」でないものを選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

アレイ未構成

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順 6 OS をインストールします](#)へ進みます。



6 OSをインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していない旨 のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「3.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2012 R2 動作確認情報」→「Windows Server 2012 R2 対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただけ、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルをご覧になり、必要な設定を行ってください。

第 2 章

Windows Server 2012 R2 Server Core の インストール

2

手動で Windows Server 2012 R2 Server Core をインストールする手順を説明します。

- 2.1 インストール前の準備
- 2.2 インストール手順

[注] Windows Server 2012 R2 の対応状況について
当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/ip/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に隨時最新情報を掲載しておりますので、確認ください。

2.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

2.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

対象デバイス	ドライバ
チップセットドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Chipset Driver
オンボード LAN / LAN カード	PRIMERGY CX1430 M1 Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel(R) PROSet
ディスプレイドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Onboard VGA Driver

※ ドライバは随時更新されます。

2.1.2 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『PRIMERGY CX1430 M1 アップグレード & メンテナンスマニュアル』(サーバ本体の個別マニュアル (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/manual-cx600m1-201609.html>)) をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

■OS インストール前の留意事項

- UEFI モード/BIOS モードの切り替えが必要な場合
インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクの UEFI 対応情報をご参照ください。
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>
- ETERNUS などの外付けストレージシステムを接続されている場合
AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。
- OS インストールに使用しない内蔵ストレージを接続されている場合
OS インストールに使用しない内蔵ストレージデバイスは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

2.2 インストール手順

Windows Server 2012 R2 の手動インストール手順について説明します。

■ 用意するもの

- ・ Windows Server 2012 R2 の DVD (インストールディスク)
- ・ あらかじめ用意したドライバを記録した媒体

1 Windows Server 2012 R2 の DVD-ROM を準備します。

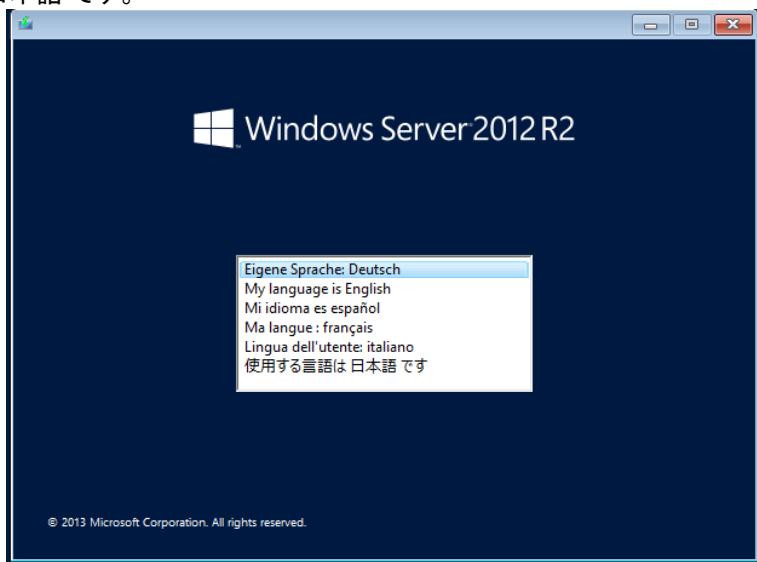
サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2012 R2 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

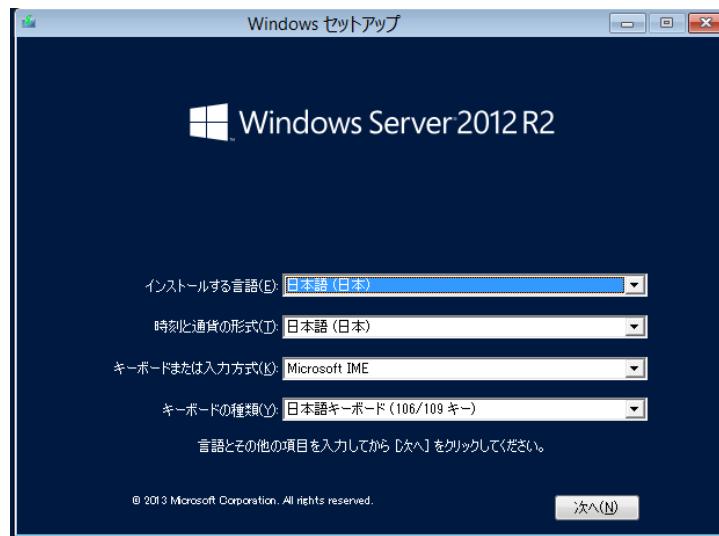
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2012 R2 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2012 R2 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。
使用する言語は 日本語 です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後、[次へ]をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

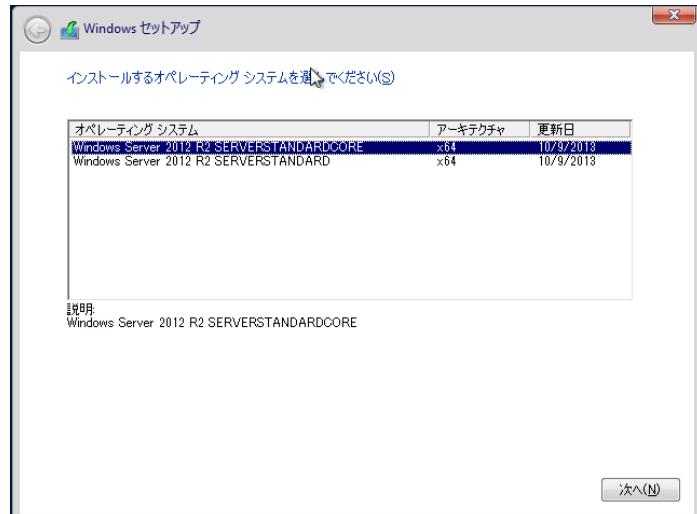


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社ホームページより「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2012 R2 動作確認情報」の順にクリックし、『PRIMERGY における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

3 インストールするOperating Systemを選択します。

次の画面から「ServerCore」と表記されるものを選択します。



4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール先を選択します。

アレイ未構成

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順6 OSをインストールします。](#)へ進みます。



6 OSをインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していない旨 のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

7 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「3.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

8 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2012 R2 動作確認情報」→「Windows Server 2012 R2 対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただけ、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルをご覧になり、必要な設定を行ってください。

第 3 章

Windows Server 2016 のインストール

3

手動で Windows Server 2016 をインストールする手順を説明します。

- 3.1 インストール前の準備
- 3.2 インストール手順

[注] Windows Server 2016 の対応状況について
当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に随時最新情報を掲載しておりますので、確認ください。

3.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

3.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

対象デバイス	ドライバ
チップセットドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Chipset Driver
オンボード LAN / LAN カード	PRIMERGY CX1430 M1 Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel(R) PROSet
ディスプレイドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Onboard VGA Driver

※ ドライバは随時更新されます。

3.1.2 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『PRIMERGY CX1430 M1 アップグレード & メンテナンスマニュアル』(サーバ本体の個別マニュアル (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/manual-cx600m1-201609.html>)) をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

■OS インストール前の留意事項

- UEFI モード/BIOS モードの切り替えが必要な場合
インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクの UEFI 対応情報をご参照ください。
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>
- ETERNUS などの外付けストレージシステムを接続されている場合
AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。
- OS インストールに使用しない内蔵ストレージを接続されている場合
OS インストールに使用しない内蔵ストレージデバイスは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

3.2 インストール手順

Windows Server 2016 の手動インストール手順について説明します。

■用意するもの

- Windows Server 2016 の DVD (インストールディスク)
- あらかじめ用意したドライバを記録した媒体

1 Windows Server 2016 の DVD-ROM を準備します。

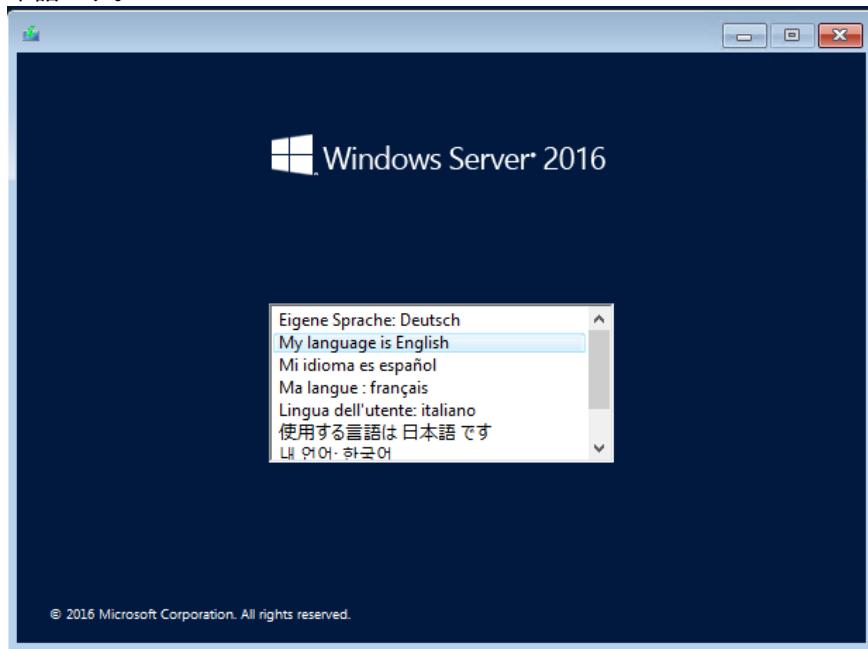
サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2016 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

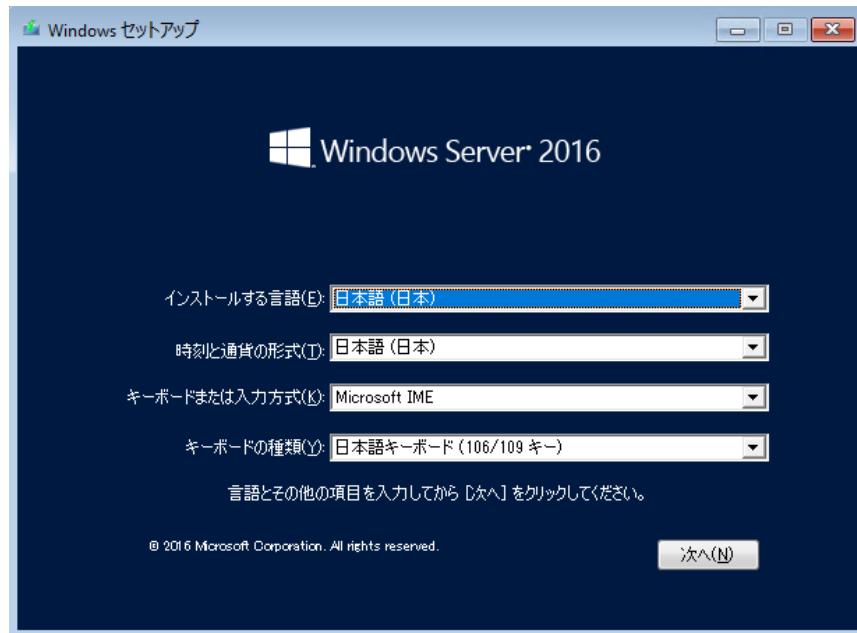
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2016 インストールのセットアップ画面が表示されます。

Windows Server 2016 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用する言語は日本語です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後 [次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

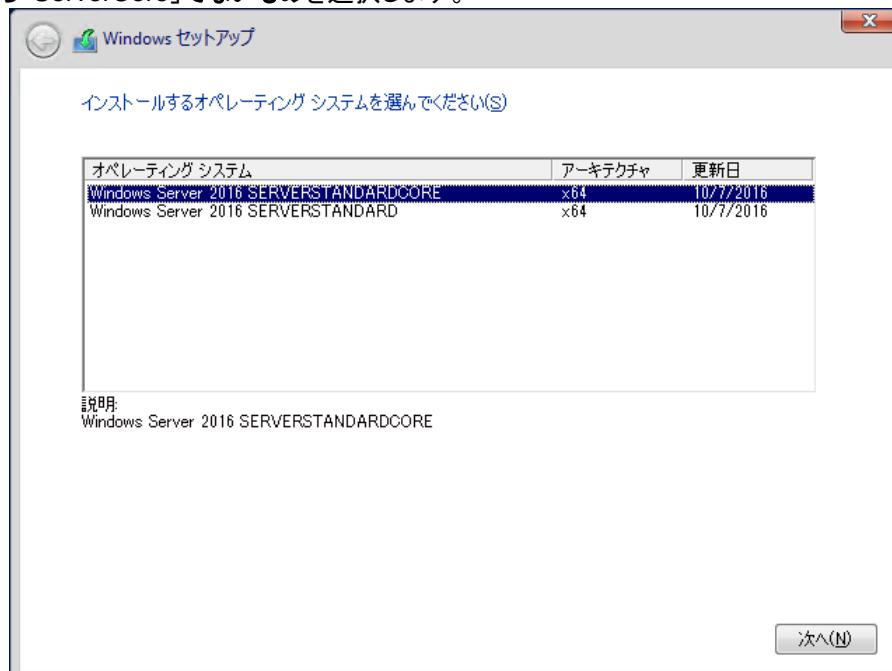


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社ホームページより「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2016 動作確認情報」の順にクリックし、「PRIMERGY/PRIMEQUEST における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項」をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

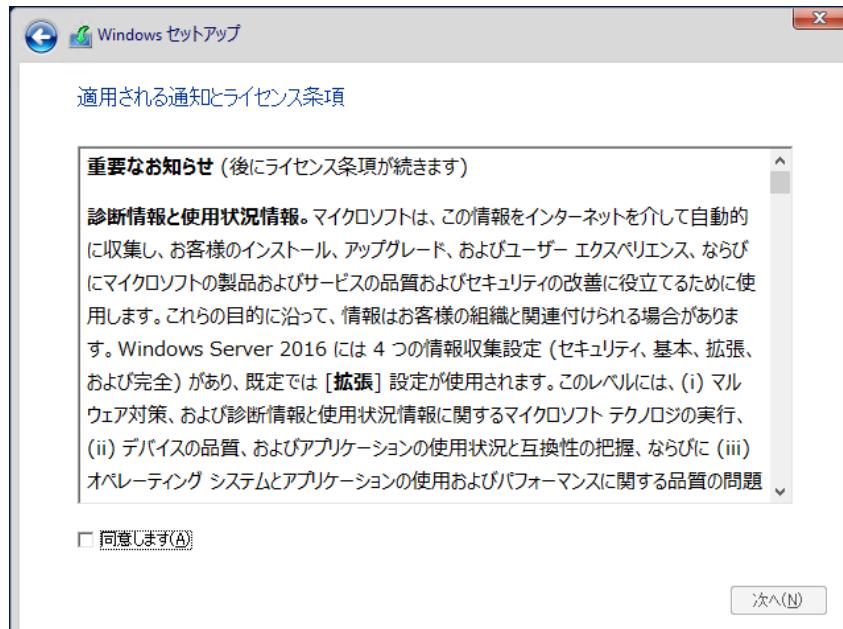
3 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「ServerCore」でないものを選択します。

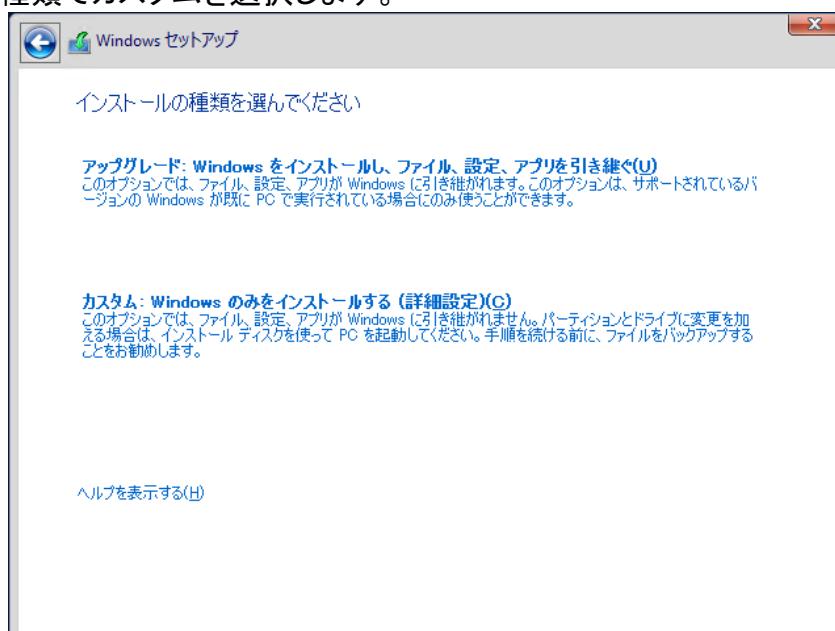


4 条項を確認します。

次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



5 インストール種類でカスタムを選択します。



6 インストール先を選択します。

アレイ未構成

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順 7 OS をインストールします](#)へ進みます。



7 OS をインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。
インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していない旨 のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

8 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「3.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

9 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記URL の「Windows サポート&サービス」→「Windows Server 2016 動作確認情報」→「Windows Server 2016 対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手してくださいか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルをご覧になり、必要な設定を行ってください。

第 4 章

Windows Server 2016 Server Core の インストール

4

手動で Windows Server 2016 Server Core をインストールする手順を説明します。

- 4.1 インストール前の準備
- 4.2 インストール手順

[注] Windows Server 2016 の対応状況について
当社ホームページ(<http://www.fujitsu.com/ip/products/computing/servers/primergy/software/windows/>)に隨時最新情報を掲載
しておりますので、確認ください。

4.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

4.1.1 ドライバの用意

インストールに必要なドライバをあらかじめ用意します。

- Web (<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>) からダウンロードしてドライバインストール用の媒体を作成してください。
- ハードウェアの構成及び OS により必要なドライバが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバをご用意ください。

対象デバイス	ドライバ
チップセットドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Chipset Driver
オンボード LAN / LAN カード	PRIMERGY CX1430 M1 Onboard/PY-LAxxx LAN Driver & Intel(R) PROSet
ディスプレイドライバ	PRIMERGY CX1430 M1 Windows Server 2012 R2/2016 Onboard VGA Driver

※ ドライバは随時更新されます。

4.1.2 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、『PRIMERGY CX1430 M1 アップグレード & メンテナンスマニュアル』(サーバ本体の個別マニュアル (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/manual-cx600m1-201609.html>) をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

■OS インストール前の留意事項

- UEFI モード/BIOS モードの切り替えが必要な場合
インストール前に BIOS 設定の変更が必要となります。設定方法やサポート状況に関しては、下記リンクの UEFI 対応情報をご参照ください。
<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>
- ETERNUSなどの外付けストレージシステムを接続されている場合
AC ケーブルを接続しないなど、OS のインストールが終了するまで、外付けストレージシステムの電源を入れないでください。
- OS インストールに使用しない内蔵ストレージを接続されている場合
OS インストールに使用しない内蔵ストレージデバイスは本体よりはずしてください。インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

4.2 インストール手順

Windows Server 2016 Windows Server の手動インストール手順について説明します。

■ 用意するもの

- Windows Server 2016 の DVD (インストールディスク)
- あらかじめ用意したドライバを記録した媒体

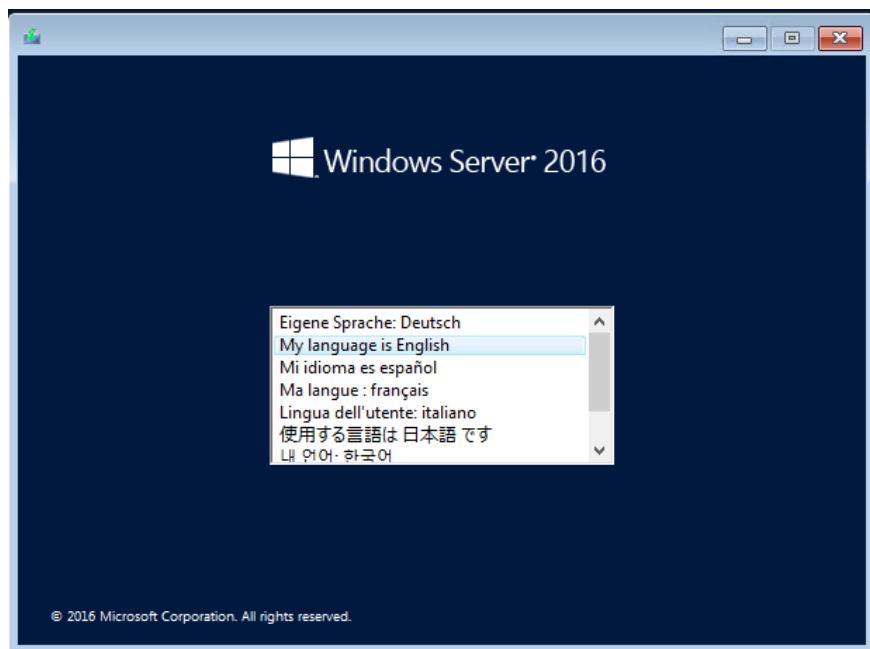
1 Windows Server 2016 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2016 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD . . .

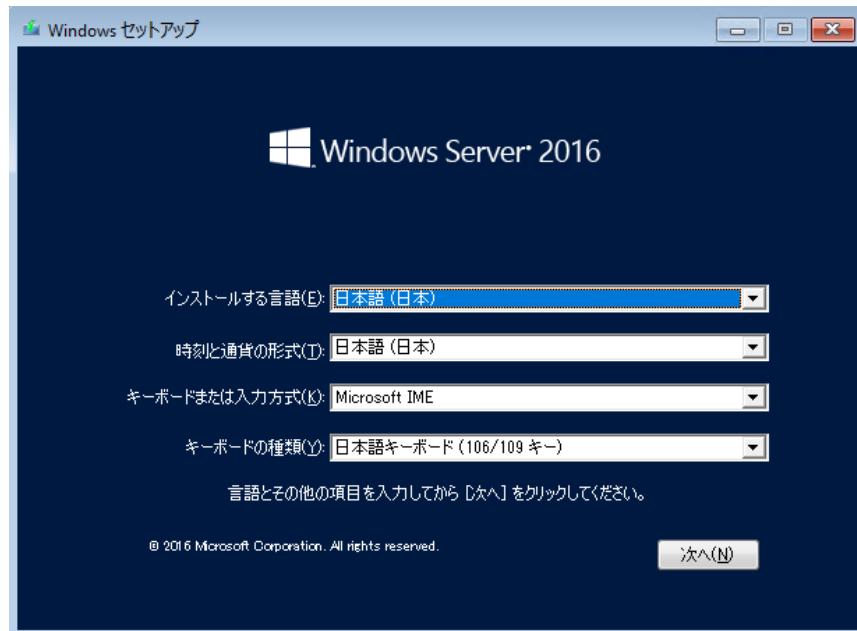
メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2016 インストールのセットアップ画面が表示されます。



Windows Server 2016 の場合は、セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。使用的する言語は 日本語 です。

セットアップ画面に従って各項目を設定した後、[次へ]をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。

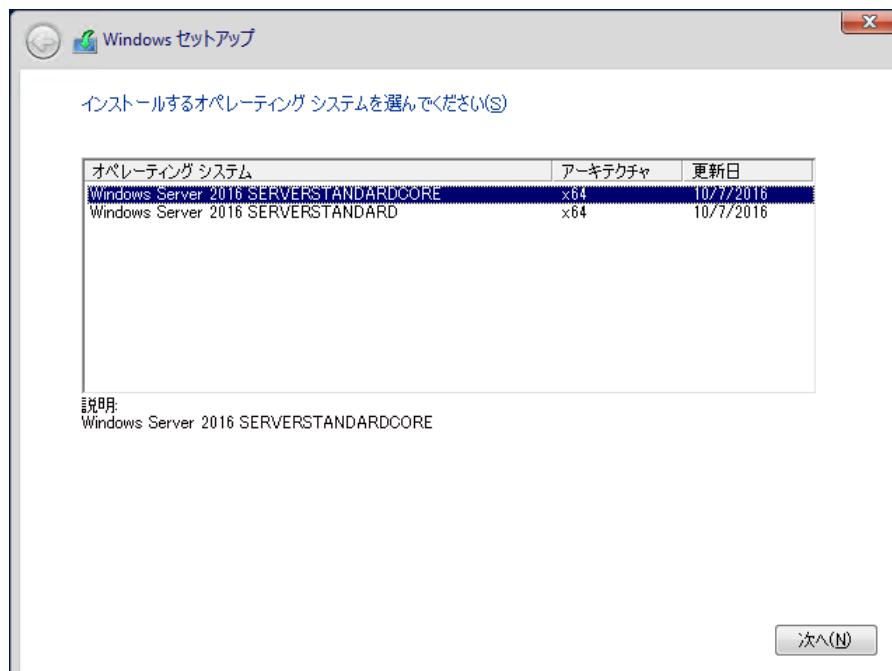


[注] Bit Locker を使用する場合は、インストール時に指定のパーティション構成をする必要があります。
詳しくは、次の当社ホームページより「Windows サポート & サービス」→「Windows Server® 2016 動作確認情報」の順にクリックし、『PRIMERGY における BitLocker™ Drive Encryption の注意事項』をご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

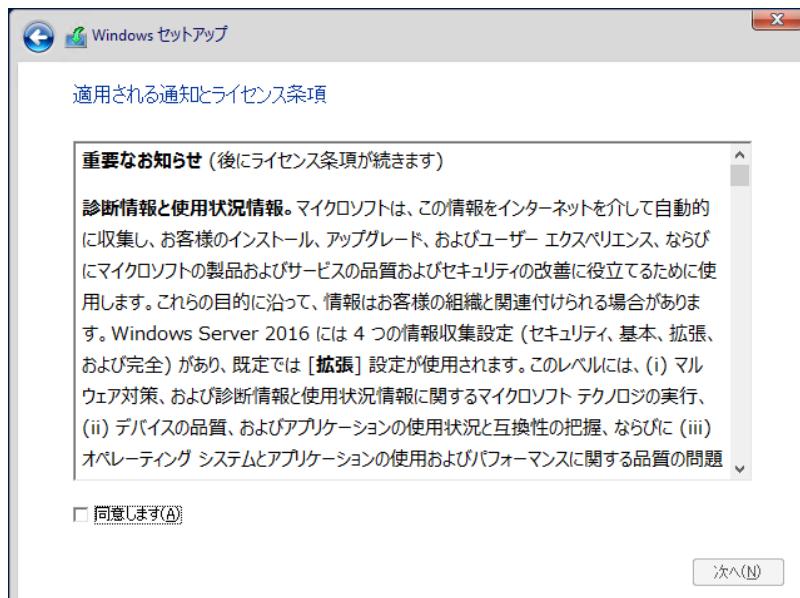
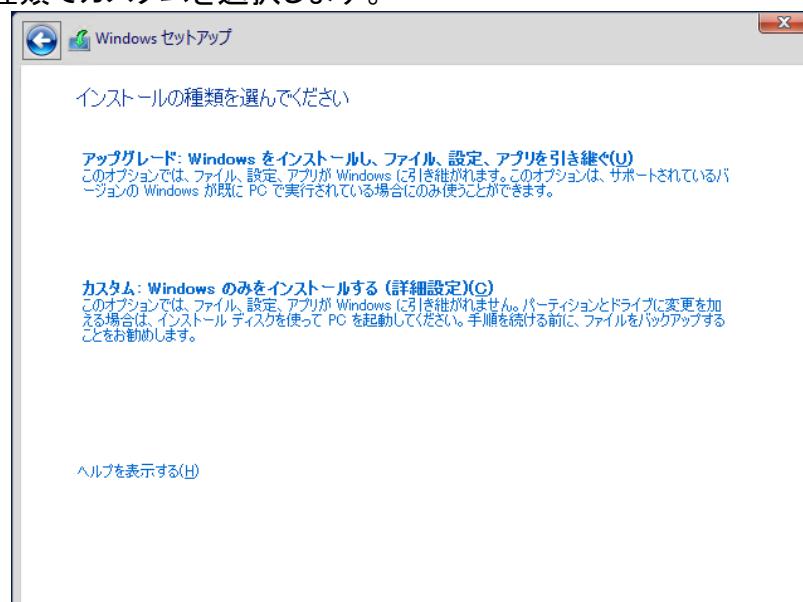
3 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「ServerCore」と表記されるものを選択します。



4 条項を確認します。

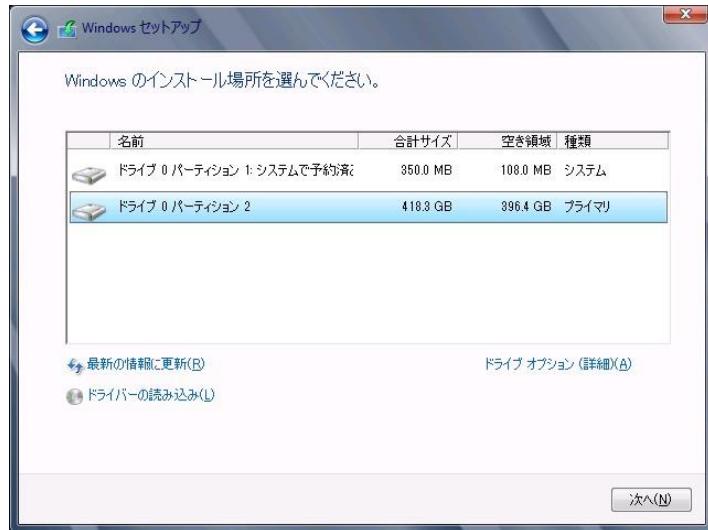
次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。

**5 インストール種類でカスタムを選択します。**

6 インストール先を選択します。

アレイ未構成

ドライバのインストールは不要です。インストール先を選択して、[次へ]を押下し、[手順 7 OS をインストールします](#)へ進みます。



7 OS をインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していない旨 のメッセージが表示された場合は、[はい]を選択してインストールを続行してください。

8 ドライバをインストールします。

以下の URL から最新のドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードされる手順書にしたがってドライバをインストールしてください。対象のドライバは「3.1.1 ドライバの用意」を参考にしてください。ドライバは随時更新されます。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

9 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼動のために、下記URL の「Windows サポート & サービス」→「Windows Server 2016 動作確認情報」→「Windows Server 2016 対応状況」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手してくださいか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/windows/support/>

これでインストールは終了です。その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルをご覧になり、必要な設定を行ってください。

Windows OS の手動インストール

CA92344-2492-01

発行日 2018 年 4 月

発行責任 富士通株式会社

- ・本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ・本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- ・無断転載を禁じます。